福岡県循環器病総合支援センター　心不全在宅ケアスタッフ研修会
福岡県　地域包括ケアシステムとの協働のための研修会　合同開催

地域で支える心不全

ー事例から学ぶ増悪予防と心不全療養指導士の実践ー

～日頃のギモンを、地域のみんなで解決する２時間～

2026
11.27
Fri.
18:00-20:00

会場	九州医療センター　外来棟4階　研修室 〒810-8563　福岡市中央区地行浜1-8-1
研修形式	会場、WEBのハイブリット方式
定員	会場40名/Web500名
参加対象	地域で心不全の医療・介護に関わる多職種スタッフ 心不全療養指導士及び資格取得に関心のある方 「心不全再入院予防継続管理料３」算定施設のスタッフ

※当研修は「心不全再入院予防継続管理料3」の研修会参加要件の一つに該当します。

プログラム

開会の挨拶　福岡県保健医療介護部健康増進課課長　町田　由紀子

第１部　基調講演　在宅で最後まで支える重症心不全
こもれび在宅診療所　院長　大森　崇史　先生

第２部　事例提示
独居・自己管理が困難なステージC心不全患者の一例
訪問看護ステーションハートリンク　心不全療養指導士　前田　高宏　先生

第３部　事例検討ディスカッション
地域で心不全増悪を防ぐために、各職種は何ができるか
※会場・WEB参加者の皆様からのご質問にお答えします。
進行：済生会福岡病院　薬剤部　福心ネット代表　塚本　裕貴先生
九州医療センター　心臓血管ハイケアセンター　看護師長　松田　陽平

第４部　座談会　心不全療養指導士という選択
ー取得のきっかけとその後の実践ー
進行：久留米大学病院　慢性疾患看護専門看護師　心不全療養指導士　中島　菜穂子先生

閉会の挨拶　九州医療センター　院長　岩﨑　浩己

後日オンデマンド配信予定

開催趣旨

高齢化に伴い、心不全患者の増加が見込まれるなか、再入院予防を目的とした在宅療養支援の重要性が高まっている。本研修は、地域の医療・看護・介護・福祉の関係者が心不全支援の共通理解を深め、多職種連携による切れ目のない支援について考えることを目的としており、今年で３回目の開催となる。

今年度は、心不全患者を在宅で支える医療チームの実態について学ぶと共に、課題について参加者も交え討論する。更に、心不全療養指導士の役割や活躍の実態を知り、地域における心不全支援の質向上のきっかけの場となることを狙いとする。

参加にあたって

本研修は厚生労働省が定める「心不全再入院予防継続管理料１・２」の施設基準である地域向け研修として提出されており、「心不全再入院予防継続管理料３」の施設基準である研修会への参加を満たす研修です。

研修会当日、参加者の所属施設単位で「参加証明証」を１部発行いたします。
発行の対象につきましては、会場参加による出席が確認できた施設のみとさせていただきますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

参加申込

事前申し込み制です。
下記URLまたはQRコードよりお申込みください。

URL:https://forms.gle/4tadbt1TiXRAdnZC6

参加申込〆切：11月26日（木）

お問い合わせ

〒810-8563　福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1
独立行政法人国立病院機構　九州医療センター
福岡県循環器病総合支援センター　TEL:092-836-5003

主催：独立行政法人国立病院機構　九州医療センター
福岡県循環器病総合支援センター
福岡県保健医療介護部健康増進課
共催：福岡県心不全療養指導士ネットワーク